



# 学校評価のお願い

本校の教育活動にどのような印象を抱かれているかを把握し、その結果を今後の学校経営の充実に生かすことを目的に「保護者アンケート」（上半期の学校評価）を実施します。

5月22日発行の学校だより（特別号①）で本校の教育活動計画について紹介し、その後、学校だよりやホームページで本校の取組状況を紹介してきましたが、学校評価にあたり、関係する内容を抜粋して本紙でご紹介します。本紙を参考にさせていただき、アンケートへのご回答をお願いいたします。（詳細はp8）

## 1. 安全指導の取組



**(1) 登下校指導** <4月11~13日>  
年度始め、本校職員で校舎西側・北側・南東側の道路の交差点や横断箇所では交通指導を行いました。（町内会の方には毎日見守っていただいています）



**(2) 自転車点検** <4月18~21日>  
全国的に事故の多い自転車の使用についての指導と、点検を実施しました。



**(3) 避難訓練** <5月15日、9月11日>  
様々な状況下で、避難経路や「危険を予測し、回避する」行動を確認しました。



**(4) SNS教室** <7月20日>  
勝毎デジタル担当職員を講師に、情報リテラシーを身につけ、情報を賢く扱うにはどうしたらいいのかを考える学習を実施しました。

-----  
【今後の予定】

**(5) 防災教育** <10月予定>

学年毎のテーマで、地域探索（1年）避難所設営（2年）、避難所運営（3年）を学習し、地域の中での役割について考えを深めます。



**(6) 薬物乱用防止教室** <3月予定>

講師を招き、3年生を対象に薬物の恐ろしさや忍び寄る誘惑から自身を守る学習をします。



## 2. 学力向上の取組

### (1) 指導工夫で学びの充実へ

#### ① 読書活動・対話活動



**<緑園タイム>**

読むことの習慣化、落ち着いた日常を定着していく「朝読書」に加え、自分の考えをまとめ、伝える力を向上させる「対話活動」を朝の会の前に行っています。

#### ② ICT活用



**<タブレットの活用>**

大型モニターや、1人1台端末の活用により、個々の習熟度や興味に応じた学習を充実させるなど、効果的な指導工夫を進めています。

#### ③ 放課後学習会



**<緑園自習室①>**

毎週水曜日の放課後に実施し、教員や学習指導員に質問しながら、宿題やeライブラリー等、自分の課題に合わせた学習を行っています。

#### ④ 長期休業学習会



**<緑園自習室②>**

8月2~4日、夏休み学習会を実施し、宿題や課題、eライブラリー等に取り組みました。



**<お花教室>**

8月3日、地域ボランティアを講師に、参加者30名は思い思いに「夏の花」をアレンジし、表現力や情操を高める活動を行いました。



**<実験教室>**

8月4日、ブタの眼球解剖実験、見え方実験を実施し、十勝の歴史や畜産業、食文化についても学習を深めました。エリアの生徒児童・保護者・教職員合わせて35名が参加しました。



### 【今後に向けて】

※①~③を継続していきます。また、①については、全校朝会や学年朝会を設定し、伝え合う活動を充実させたり、②の基礎となるタイピング活動も行ったりします。④は内容を変えて冬も実施する予定です。

## (2)よりよい授業を目指して

本校では、研究テーマ「思考力・判断力・表現力を育む指導方法の工夫」～対話力を育むための活動の充実～を目指し、計画的に校内研修（教員や関係者による授業参観や協議）を行っています。

- 6月19日、コーチ羅針盤代表 秦公一さん（国際コーチング連盟アソシエイト認定コーチ）を講師に招き、本校教員を対象に、「対話力を育む授業づくり」の



ための学習会を行いました。お互いの考えに変化を生み出す「対話」を実現するため、授業での場面、具体的な方法などの講話を受け、演習を交えて学習しました。

- 7月10日、「授業におけるICTの効果的活用」について、愛知県春日井市の学校での取組や、様々なアプリの活用例を参考に、動画や演習を交えて研修



を行いました。テクノロジーや価値観、生活様式など、急速に変化する未来社会を生きる子どもたちへ、より良い授業を目指して学んでいきます。

### 【中間状況】授業アンケートより（7月末の全校平均）

- 授業で「わかった」「できるようになった」という満足感や達成感がある。  
国語… 84.1% 数学… 90.8% 理科… 91.3%  
社会… 92.3% 英語… 84.4%
- 緑園タイムで自分の考えの理由を分かりやすく書くことができる。  
… 88.8%

### 【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

- 友達の話や意見を最後まで聞くことができる。  
… 94.6%（前年9月比+5.6）
- 自分の考えや意見を発表することは得意である。  
… 53.5%（前年9月比+4.8）

### 【今後に向けて】

- ①授業アンケートは各項目で高い結果となり、生活学習アンケート結果は昨年より上昇傾向にあります。継続して「できる」「わかる」授業づくり、思考力・判断力・表現力を高める対話活動を充実させます。
- ②各種テスト結果による個々の達成状況や、職員の自己評価、外部からの助言、生徒アンケートの結果を活用しながら、指導と評価の一体化を目指し、より良い授業づくりを進めます。

## (3)学習習慣の定着を目指して

### ①家庭学習の推進

日常的に家庭学習を直向きに取り組み、積み上げていくために、宿題や課題以外に、eライブラリーや自学ノートなどを活用しています。



自学ノートについては、生徒が自らスケジュールや学習内容を調整して、取組を積み上げることで、達成感を得て、粘り強く取り組む意識を育みます。

### ②自らの取組への振り返り

テスト計画表の振り返りや教育相談で、自分を見つめる機会となるよう以下の視点でお話しています。

・現時点での自分を知り、どれだけ自分が成長したか、これからすべきことは何かを探る機会としてほしい。



話すことで自分の考えが整理され、自分が決めることで行動に覚悟が生まれます。主体的な考えと行動を支援して、背中を押していきます。

### 【中間状況】

#### ○自分で計画を立てて勉強をしている。

- ・4月の全国学力・学習状況調査で、3年生は全国を大きく上回っている。
- ・7月の生活学習アンケートで、全校平均… 64.3%

#### △平日1時間以上、土日2時間以上、家庭学習している。

- ・4月の全国学力・学習状況調査で、3年生はともに全国を大きく下回っている。
- ・7月の生活学習アンケートで全校平均は、  
平日1時間以上… 62.0%  
土日祝日2時間以上… 28.8%

### 【今後に向けて】

- ①家庭での学習習慣の定着に向け、自学ノートやchrome book、計画表の活用、面談での働きかけを継続します。
- ②「キャリア教育」を通して、学習への動機付けを継続します。
- ③「大人の学習会」を企画して保護者と連携した環境づくりを進めます。〈10月11日予定〉

## (4)全国学力・学習状況調査より



4月18日、3年生を対象に国語・数学・英語を実施しました。（英語「話すこと」は後日実施しました）



今年度の結果は、p3の通りです。詳細は、後日改めて紹介します。

### 【結果】全国学力・学習状況調査より（4月の3年生）

#### <国 語>

- 平均正答率が全道・全国を上回っている。
- 聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることにおいて、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 自分の考えを伝えるために、根拠を明確にする情報を引用して書こうとする意識が、全道・全国を大きく上回っている。
- △読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題が見られた。

#### <数 学>

- 平均正答率が全道・全国を上回っている。
- 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することにおいて、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 記述問題を全て最後まで解答しようとする意識が高い。
- △データを比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。

#### <英 語>

- 平均正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 情報を正確に聞き取ることに於いて正答率が高い。
- 英語の勉強は大切、授業がわかる、将来役に立つと感じている生徒の割合が全道・全国を大きく上回っている。
- △授業において、自分の考えや気持ちを英語で伝え合うことや文章で書くことに課題が見られた。

#### <生徒質問紙>

- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組もうとしていた生徒の割合が、全道・全国を上回っている。
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かそうとしている生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につながるようとしている生徒の割合が、全国を大きく上回っている。

### 【今後に向けて】

※根拠をもとに自分の考えをまとめることや、伝えようとする意欲が高まっている（無回答率が低い）が、相手に伝わるように表現することにおいて課題が見られた。以下の取組を継続し、思考力・判断力・表現力を高める対話活動を充実させます。

- ①授業の中で、考えの「理由」を話したり、書いたりするアウトプットの時間を設けます。（知識をつなげる、自分の考えをまとめる）
- ②週に1回、朝の時間をつかって「緑園タイム」（お題について自分の考えをもち、その理由をはっきりさせ、対話や文章にまとめる学習）を行います。
- ③チャレンジテストや学力テスト・定期テスト・標準学力検査等を活用しながら、短期間で検証・改善します。

## 3. 体力向上の取組

### (1)全国体力・運動能力・運動習慣等調査より

昨年度（令和4年度）の結果は、

- 男女共に、体格・敏捷性・全身持久力・投球能力が高い。
- △男女共に、筋力に課題が見られた。
- 男女共に、運動が好き・体育の授業に進んで参加している生徒の割合が全国より高く、毎日の運動時間が全国より多い。（生徒質問紙より）

この結果をもとに、今年度（令和5年度）、主に以下の取組を実施しています。

#### ①体育授業の工夫

効率的な体の使い方の指導や、基礎的な筋力を向上させる運動を取り入れ、運動量を確保した授業展開を行っています。



#### ②「対抗戦」の実施

球技大会やアイスホッケー大会、体育祭等の体育的行事を実施しています。生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めています。



### 【結果】新体力テストより（6月の2年生）

種 目	体力要素	男子	女子
握力	筋力	△	△
上体起こし	筋パワー・筋持久力	○	○
長座体前屈	柔軟性	△	△
反復横とび	敏捷性	○	○
20mシャトルラン	全身持久力	○	○
50m走	疾走能力	○	○
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	-	-
ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	○	-

※ R4の全国平均より高い(○)、同程度(-)、低い(△)

- 男女共に、筋持久力・敏捷性・全身持久力・疾走能力が高い。
- △男女共に、筋力・柔軟性に課題が見られた。

### 【今後に向けて】

※同一学年（現2年生が1年生の時）の比較では、男女共に柔軟性以外の体力が大きく向上し、特に筋持久力・疾走能力の向上が著しかった。引き続き①②を継続し、新たに5月以降から③を実施しています。

- ①体育授業の工夫（継続）
- ②「対抗戦」の実施（継続）
- ③昼休みの体育館開放、グラウンド開放を実施し、体育的活動の企画・推進を行う。

## ② 感染対策と教育活動

5月、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、感染状況を注視し、その都度、市教委の指導・助言のもと教育活動を進めていきます。今後も、少しでも子どもたちの心が満たされる取り組みを工夫して実施していきます。

## ③ 望ましい生活習慣の定着

栄養教諭による食育指導を実施し、掲示や講話、元北海道ホテル料理長を招いた調理実習などを行い、「食の大切さ」について学習を深める予定です。



今後も、担任・学年団による生活指導、顧問による部活動指導等を通じて、栄養・休養・運動をしっかりとる生活習慣を意識できるように、保護者と連携して進めます。

# 4. 豊かな心を育む取組

## (1) 協動的な学びの充実

### ① 心のつながりを生む取組

#### ・体育祭「仲間とつくる感動」 <5/27>

「頑張ることは格好いい」「心を一につに揃えることは素敵なこと」を体現し、仲間を励ます、お互いの健闘を讃え合う活動となりました。



#### ・文化祭「心一つに歌声響く」 <10/1>

「心を一につに揃えることは素敵なこと」を体現し、お互いに表現力や情操を高め合う活動となりました。



## ② 思いを伝え合う取組

### ・意見発表「私の思い、言葉こめて」 <8月23日～9月30日>

夏休みに全校生徒で取り組み、学級発表、代表による学年発表・文化祭発表を行いました。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいのか」を考え、自分たちのあり方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合いました。



### ③ 「地域のためにできること」を考える取組

#### ・ボランティア活動 <7月11～13日、9月7日>

「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という



思いのもと、生徒会主催でボランティア活動が行われています。



第1回目は、「ゴミ拾い登校」を7月に3日間実施しました。第2回目は、「西公園の清掃活動」を9月に行い、42名が参加しました。

今後も、企画・実施していく予定です。



【今後の予定】

- ・1年防災学習「地域探索」 <10月17日>  
～危険を予測し、対応を考える～
- ・2年防災学習「避難所設営」 <11月28日>  
～相手意識を高める～
- ・3年防災学習「避難所運営」 <12月6日>  
～対話と合意形成の積み上げ～



## ④ 地域の教育資源を活用した学び

### ・修学旅行 <4月24～27日、報告会5月16日>

事前学習と旅行を通して、研修先（道南・道央）の歴史・文化・産業等について調べ、ふるさと帯広との違いや、帯広の良さの再発見、帯広の未来について考えたことを各班でまとめました。後日の報告会では、下級生にタブレットを活用しながら発表しました。



仲間と協力しながら探究し、日頃の学びを修める(修学旅行をみんなが主役となって作り上げていました。

## 【中間状況】生活学習アンケートより (7月末の全校平均)

○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。  
… 91.9% (昨年9月比+7.2)

## 【今後に向けて】

※生徒たちは体育祭・文化祭を通して、多様な他者とよりよいものを作り出す楽しさや感動を共有していたようです。今後もスポーツ大会や、日々の活動の中で、「頑張ることは格好いい」「心を一につにそろえることは素敵なこと」を合い言葉に、夢中になれるものを見つけられるよう働きかけていきます。

・おびひろ市民学「SDGs」他

～持続可能な社会のために～



<1年生>

・8月23日、「地域の大人にできること」をテーマに、「手話教室」を行いました。



・9月7日、「SDGs 持続可能な社会のためにできること」をテーマに、地域や社会の未来に対して責任ある行動とは何かを考える学習を行いました。

① JICAで「国際協力」の学習



② ”はぐくむ”で講話や散策による「帯広の森づくり」の学習



③ 帯広市青年会議所から講師を招いて、「自分たちに出来るアイデア」の交流や、まとめを行いました。

<2年生>

・6月23日、「地域の大人にできること」をテーマに、「認知症サポーター養成講座」を行いました。地域包括支援センター職員が講師を務め、人を大切にすることや支え合うために、自分ができることは何かを考える学習を行いました。



<3年生>

・7月7日、「帯広市の台所事情」と題して、市財政課職員を講師に招き、「帯広市のまちづくり」と「財政」についての学習を行いました。

(2) 将来の自分の姿を考えさせる取組

「職業人に聞く」や「職場体験」、「高校の先生に学ぶ」、



教育相談や進路説明会、三者面談を通して進路について考えを深める機会を設定しています。また、生徒は部活動や地域活動等での出会いから、将来の生き方の刺激を受けています。

・1年進路学習「職業人に聞く」<12月予定>

～働く意義、職業観を学ぶ①～

企業講師と3つの中学校をオンラインで結び、インタビュー活動を通して、職業観や生き方を考える学習をします。



・2年進路学習「起業という進路」<8月28日>

～働く意義、職業観を学ぶ②～

釧路高専の協力により、2年生を対象に行いました。起業について、サラリーマンとの違いを交えながら、仕事の特色や必要な能力などについて、具体的に学習しました。



・2年進路学習「職場体験」<9月12～13日>

～働く意義、職業観を学ぶ③～

近隣の34事業所に協力をいただき、2日間の職場体験を通して、働く意義や職業観について学びを深めました。



・3年進路学習「高校の先生に学ぶ」<7月3～6日>

～具体的な進路実現へ～

近隣の高校(7校)の協力により、3年生を対象に説明会を行いました。各校の特色や進路、学校生活など、動画やスライド等で説明を受け、質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めました。



・インターンシップ・教育実習の受入 <7月、9月>

将来、教職員を目指す高校生(卒業生を含む7名)、大学生(卒業生2名)が来校しました。

大学生は授業をはじめ教員の業務全般を体験し、高校生は授業見学や学習支援、最終日には中学生へのプレゼンを行いました。自分の経験談を交え、中学生の勉強法や生活の心得、進路の見通しなど、対象学年に応じた内容で自作カードなどを使いながら工夫してお話しました。中学生は、「年の近い先生」から進路や将来像について多くの刺激を受けていました。



**【中間状況】全国学力・学習状況調査より(4月の3年生)**

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると感じている生徒の割合は、全国を大きく上回っている。

**【今後に向けて】**

※探究的な学習を通して、生徒たちは主体的に取り組み、成果を共有し、振り返って改善する姿が多く見られました。今後も、おび学「SDGs 郷土のためにできること」や修学旅行の自主研修「郷土との比較」、職業しらべや職場体験「将来の生き方」、防災教育「地域のためにできること」など、自分事として探究していく学習活動を設定していきます。

### 【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

- 将来の夢や目標を持っている… 73.2%（昨年9月比+4.5）
- 人の役に立つ人間になりたい… 93.8%（昨年9月比+2.5）

### 【今後に向けて】

※将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うために、今後も、多くの人と多くの経験を重ねながら、自分の生き方を考える機会を設定していきます。日々の授業や学級・生徒会活動に加え、進路学習、ボランティア活動、防災教育、スポーツ大会などを計画しています。

### (3)道徳授業の充実

#### ・「考え、議論する道徳」<年間>

アンケートや面談等による生徒の実態を調査した後、「考え、議論する道徳」の授業を全教員で担当を決めて実践しています。

### 【中間状況】全国学力・学習状況調査より（4月の3年生）

- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると感じている生徒の割合は、全道・全国を大きく上回っている。

### 【今後に向けて】

※思春期の悩みやお互いの理解、命の尊さや人権について考えを深めるため、「生」と「性」をテーマに特設授業を設定します。

- ①「多様な性の学習」(LGBTQ) <10月13日予定>
- ②「いのちの学習」(生命の誕生、デートDV、境界線と同意、SOSの出し方) <12月予定>

### (4)集団と自分の関わりを考えさせる取組

#### ①各種アンケートの結果の活用 <4月、5月、7月、8月>

全国学力・学習状況調査(4月)、いじめ等調査(5月・8月)、生活学習実態調査(7月)や教育相談等を活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、今後について考えさせる機会を設定します。

#### ②Q-U調査(学校適応心の調査) <6月、9月>

学級全体と生徒個人の適応感を調べ、SOSのサインや、集団の中での関係性について確認し、指導・支援の参考にしています。



#### ③教育相談 <6月、随時>

学習や生活、人間関係、部活や進路など、生徒が相談したいことを記載した教育相談シートを基に実施しました。

・人との関わり方や距離感とは人と関わって学ぶもの。人との関わり方や将来の姿など、いまの自分と向き合い、これからすべきことは何か、将来どんな生き方をしたいか、考えを深める機会として実施しています。

### 【中間状況】いじめアンケートより（8月末の全校）

- ・「いやな思い」があった… 6.2%（今年5月比+2.0）
- 困っても誰にも相談しない… 5.4%（今年5月比-10.0）
- 自分は誰かの役に立っている… 59.8%（今年5月比+7.9）

### 【今後に向けて】

※以下の①～③の取組を継続し、加えて④を行います。

- ①「いやな思い」を積極的に認知し、面談を通じて、人との関わり方や距離感、今後すべきことについて考えさせる機会を設定します。〈面談：10～11月+適宜〉
- ②困ったときの解決方法を考えさせます。回避することは緊急時には有効です。でも、本当に解決するには相談することが大切で、相談できる人を複数名決めておくことで安心だと伝えていきます。
- ③協働的な学習を通して、一人一人の「存在そのものが尊い」こと、違いや良さを認め合い、自己肯定感や自己有用感を高めていくことで学校生活を楽しく豊かなものにする意識を促しています。
- ④「いやな思い」につながらないようにする「境界線と同意」の学習、困ったときの「SOSの出し方」の学習を特設授業「いのちの学習」の中で実施します。〈12月予定〉



### 【中間状況】全国学力・学習状況調査より（4月の3年生）

- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、お互いのよさを生かして解決方法を決めていると感じている生徒の割合は、全道・全国を大きく上回っている。
- 友人関係に満足している生徒の割合は、全道・全国を大きく上回っている。
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある生徒の割合は、全道・全国を大きく上回っている。

### 【中間状況】生活学習アンケートより（7月末の全校平均）

- 自分には良いところがある… 76.3%（昨年9月比+9.3）
- 周りは自分を認めてくれる… 86.1%（昨年9月比+9.8）
- 友人関係に満足している… 91.5%
- 失敗を恐れず挑戦している… 75.0%（昨年9月比+9.0）
- 普段の生活で、幸せな気持ちになることがある… 85.3%

### 【今後に向けて】

※「お互いを認め合おう」「良好な友人関係をつくろう」「幸せを感じ取ろう」「挑戦しよう」とするpositiveな気持ちが全体的に向上していました。生徒の意識やそのきっかけとなる保護者の声かけが大きな要因と考えています。

- ・今後も生徒指導の視点（自己存在感、共感的人間関係、自己決定、安全安心）を生かした集団づくりを進め、学び合いの環境の維持・向上に努めていきます。

## 5. 小中連携の取組

～緑園中・開西小・森の里小の取組～

### (1) 中学校教員による合同体育 <7月実施>

小中合同体育を実施し、中学生が見本となって小学生のサポートをしました。中学生は、自分の役割を自覚して一生懸命サポートすることで、「役に立った」と感じ、小学生はサポートしてくれたことを感謝し、それに応えようと努力することで、「自分も



あんな先輩のようになりたい」というあこがれの気持ちを持つことができたようです。

### (2) 体験学習による児童生徒の交流 <8月2・3日>

本校を会場に「お花教室」「実験教室」を実施し、本校生徒、小学生・保護者も一緒に学習しました。児童生徒の交流を通して、中学生は先輩としての振る舞い、児童は将来の自分の姿を考える機会となりました。



### (3) いじめ非行防止サミットによる児童生徒の交流 <6月27日>

本校・森の里小・開西小の児童会・生徒会役員で話し合い、交流と安心を生み出す取組として、「ピンクアイテムデー」や「ミッションビンゴ」を企画・実施しました。



### (4) 教職員の連携会議・研修会

- ・7月3日、緑園中エリア会議を実施し、危険マップの確認、エリアの目指す子ども像の共有、行事参観や職場体験など、交流の具体を話し合いました。
- ・小中連携会議をはじめ、特別支援担当による打合せや説明会・見学会の実施、各校の実践発表会への参加、生活や学習の情報共有と対応など、随時行っています。



### 【今後に向けて】

※感染症対策が緩和され、多くの交流を行うことができるようになりました。今後も小中連携を進め、中学生の自己肯定感の醸成や、小学生が中学校への入学を楽しみに行えるような取組を進めます。 ※上記(1)～(4)の今後の取組

- (1) 英語の出前授業や、3学期には「入学説明会」を行う予定です。
- (2) 冬休みも内容を変えて行う予定です。(性教育を含む子宮の解剖実験、冬のお花教室、中学生ボランティアによる児童学習会)
- (3) 生徒会・児童会合同の挨拶運動等を実施する予定です。
- (4) 教職員の各交流を引き続き行います。

## 学校教育目標の達成に向けて

### <学校教育目標>

学ぶ人・思いやる人・鍛える人

### <目指す生徒像>

- (1) 意欲的で粘り強く、向上心旺盛な生徒
- (2) 明るくたくましく、心豊かな生徒
- (3) 力を合わせ、創意工夫する生徒

### <教育活動の具体>

学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の具体として、①安全指導の取組、②学力向上の取組、③体力向上の取組、④豊かな心を育む取組、⑤小中連携(学びをつなぐ)の取組を行ってきました。(p1～7参照)

### <目標達成の鍵は「Be positive」(今年度の重点)>

例え悪条件でもpositiveに、最善を尽くすことで得られる経験があります。その一つ一つが自信になり、人をたくましくしてくれます。そんな経験を一つでも多くプレゼントしたいと思っています。活動を通して、**生徒が自己肯定感を高め、「学ばず意欲」「豊かな心」「自己や集団を高める意識」を向上**できるよう支えていきます。

### 【中間状況】生活学習アンケートより(7月末の全校平均)

#### <自己肯定感>

- 自分には良いところがある… 76.3% (昨年9月比+9.3)

#### <向上意欲>

- 失敗を恐れず挑戦している… 75.0% (昨年9月比+9.0)
- 将来の夢や目標を持っている… 73.2% (昨年9月比+4.5)
- 人の役に立つ人間になりたい… 93.8% (昨年9月比+2.5)
- 自分で計画を立てて勉強をしている… 64.3% (4月の全国学力・学習状況調査で、3年生は全国を大きく上回っている)
- 学校に行くのが楽しい… 78.6% (昨年9月比+5.6)

### 【今後に向けて】

※生徒の努力、保護者の協力により、昨年度に比べて全体的に向上しています。個々の課題に着目し、全ての生徒が向上していけるよう、(1)将来の目標(生き方)について考えを深める「キャリア教育」、(2)学び合いを支える「集団づくり」、(3)危険なとき、困ったときの対処法を体得する「安全教育」を通して、引き続き、知・徳・体を一体で育む教育活動の各取組を進めていきます。また、今後も学びの環境を保護者の皆さんと力を合わせてつくっていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

※ 以上を参考にいただき、**保護者アンケート(学校評価)への回答をお願いいたします。**

## 教育に関する保護者アンケート（前期）の実施とお願い

本校では、年度当初に学校教育目標の達成に向けた取組について5月(学校だより)にお示しし、教育活動を進めてまいりました。後期をむかえるに当たり、前期までの達成状況(p1～7)を保護者の皆様と共有し、「保護者アンケート」(前期の学校評価)にて、評価をいただきたく存じます。

本校の教育活動にどのような印象を抱かれているかを把握し、その結果を今後の学校経営の充実に生かすことを目的としておりますので、ご協力をお願いいたします。

- 1 目的 本校の教育活動にどのような印象を抱かれているかを把握し、その結果を今後の学校経営の充実に生かす。
- 2 内容 以下の通りです。

	教育目標・重点	質問内容
Q 1	学ぶ人	・緑園中学校は、生徒の学力向上に取り組んでいますか。
Q 2		・生徒は、自ら時間の管理ができ、よく学んでいますか。
Q 3	思いやる人	・緑園中学校は、豊かな心を育てる教育実践を行っていますか。
Q 4		・生徒は、よく挨拶ができ、感謝を表現できていますか。
Q 5	鍛える人	・緑園中学校は、心身を鍛える生徒を育てていますか。
Q 6		・生徒は、自ら心身の健康を図っていますか。
Q 7	Be positive ～自己肯定感を持ち向上できる人～	・緑園中学校は、生徒にとって活躍の場がある学校ですか。
Q 8		・緑園中学校は安全・安心な環境づくりに取り組んでいますか。
Q 9		・緑園中学校は、生徒の自己肯定感や向上意欲を高めていますか。
Q10		・緑園中学校は、保護者にとって協力し連携できる学校ですか。
Q11		・緑園中学校の「保護者への情報提供」に満足していますか。
Q12		・教職員の「保護者や生徒への対応は親切」ですか。

※ 「十分である」「概ね十分である」「やや不十分である」「不十分である」から1つ選んで回答ください。

- 3 回答方法 以下のいずれかの方法でお願いします。(一家庭一回答です)

- ①右記「QRコード」によるWeb上での回答
- ②本日送信「楽メ」の指定アドレスから回答

- 4 回答期日 10月3日(火)～10月11日(水)

